

準備運動をしないとどうなる？

ゴールデンウィークが明け、明治村へ遠足に行き、1学期中間テストまであと1週間となった今日、みんなの気持ちはきちんと切り替えられているのだろうか？以前から、「授業が大切！」と何度も言われているはずだが、「本当に授業を大切にしているのかな？」と思われる部分が散見されているように感じる。「えっ？ちゃんと授業が始まる前に授業に必要な物は準備できているし、授業も寝ることなく聞いているし、ノートもとっているし…、別に授業を大切にしていないことはないと思うけれど…」と思う人たち、教員の目からはどのように見えているのか、どのようなところに「うーん。(そうではない)」と思っているのかを教える。

① 何故メロディーチャイムが鳴っていても平気なのだ？(-_-メ)

浜松湖東高校は、わざわざメロディーチャイムを設けている。(他校はいわゆるキンコンカンコンのチャイムがほとんどだ。)それは、5階もあって横幅が長い校舎であるから、1分前にメロディーを流すことで、授業が行われる場所から遠い位置にいても、せめて始まりに遅れないように好意で設けてくれている。では、授業が行われる教室に十分近い位置にいるなら、ギリギリまで廊下で友達と仲良く話していて良いのか？それをやっていたらどうなるのか？「もう始まりますよ！授業に遅れることのないようにしましょう！みんなで切り替えて、授業を同じタイミングでスタートできるようにしましょう！」という隠れたメッセージが込められているのではないだろうか？「自分さえ良ければそれでいい」でいたら、空気の読めない人間になり、(あの人は言ったところで聞かない人だからと思われて、)知らないところで見捨てられる人間になってしまうのではないのだろうか？社会に出て、メロディーチャイムを設けている就職先はたくさんあるのだろうか？「メロディーチャイムに慣れてしまっていたら、この先どうなるのだろうか？」と考えたことはあるのだろうか？成人になるまで2年とないみんなに、今一度考えてほしいと思う。

② 何故授業の始まりの挨拶の時に、ノートが開かれていないのだ？(-_-メ)

授業の始まりの挨拶をする時、みんな側からは教員を見て挨拶をするが、教員側からは一度に複数の生徒を見て挨拶をする。その時の教員の視界には、誰がノートを開いていて、誰がノートを開いていないのかが分かり、「やっぱりね」と思うのだ。授業を真剣に受けることができる人は、授業が始まる前に前時の授業の復習をしている。授業を真剣に受けていてもまいち点数が伸びない人や、授業を真剣に受けていない人は、授業を初めから受け身の姿勢で受けている。考えてみてほしい。体育の授業で、準備運動をせずに軽くない運動をしたらどうなるのか？普段から運動をする習慣がある人ならば、そこまで大きなことにはならないかもしれないが、ほとんどの人が体に異常が出るのではなかろうか？体を動かす時のみではなく、頭を動かす時にも準備運動をすることが、その後の動きのために大切なことではなかろうか？

みんなは浜松湖東高校の様子しか知らないと思うが、複数の高校を教えてきた教員からすると、やはり進学校の生徒ほど授業の始まる5分前あたりから次の授業の準備をし始めていて、勉強の苦手な学校の生徒ほど、準備自体ができていないのだ。だから、受け終わった授業の勉強を次の授業が始まるギリギリまで勉強しているのも違うのだ。せめて授業が始まる1分前には切り替えて、準備運動をしてほしい。小テストを受ける時のような準備を、普段の授業の準備でもしてほしい。それができていないのに、「進学したい」と簡単に言わないでほしい。

また、いずれ就職する際に、すべての就職先でとは限らないが、「クレペリン検査」というテストを受けさせるところがある。これは、1桁の数字がランダムに横に長く何行も書かれていて、制限時間内に左から1つ目と2つ目の数字を足してその1の位の数字を書き、次に2つ目と3つ目の数字を足してその1の位の数字を書き、…をひたすらやっていく。制限時間がきたら、次の行に移る、…をひたすら繰り返すのだ。このテストを受けさせることで、受験者の物事の取り組みに対する切り替え力や集中力の長さや正確性を測ることができるのだ。だから、毎日6時間もあるのだから、今の自分のためにも、将来の自分のためにも、本当に授業を大切にしてほしいのだ。「業(学問・学業・技芸)を授かる」ための習慣は、社会に出てからも十分に役立ち、身に付いていない習慣を社会に出てから身に付けるのでは身に付きづらく時間もかかり苦戦するのだ。若いうちに身に付けることや、若いうちに身に付けられる環境があるありがたみをなめてはいけない。

③ 何故授業中にメモしないのだ？(-_-メ)

「すべての授業でメモしなさい」とは言わないが、授業で教員が「これは重要だよ」と言ったところはマークしておけば、

それが重要であるから身に付けるべきなのはもちろんのこと、テストにも出題される可能性が高く、一石二鳥ではなからうか？ポカーン(° ㇿ °)として手の動かない生徒が散見されるが、何故お得なことをしないのか？大いに疑問である。

また、教員は生徒にとって分かりやすい板書を心掛けているが、当然人によって理解の度合いは違うのだから、教員が板書していなくても、教員が口にして板書しなかったことや、自分の言葉でメモしておけばより分かりやすくなることは、積極的にメモするべきではなからうか？メモ帳やメモ機能が世の中から消えることはあるのだろうか？「メモする」＝「積極的」＝「positive」「active」「aggressive」だということを心に刻んでほしい。

1学期中間テストまであと7日。 精一杯頑張ってみよう！

さて、上記の記事を踏まえ、もう一度この1週間にどのように授業に向かうのか、どのように学習に励むのかを考えてほしい。もう知っての通り、期末テストには科目数が増えるのだから、中間テストでできるだけ高得点をとっておくべきである。テスト日程が発表されたのだから、きちんと計画を立て、実行し、振り返り、次なる行動をとってほしい。頑張れ！

～文系～

| | 5月17日(水) | 5月18日(木) | 5月19日(金) |
|----|----------|----------|----------|
| 1限 | 数学 | 公共・地理 | 英コII |
| 2限 | 生基(30) | 論表II | 日世探 |
| 3限 | 古典探求 | 国語 | 地域防災訓練 |

～理系～

| | 5月17日(水) | 5月18日(木) | 5月19日(金) |
|----|----------|----------|----------|
| 1限 | 数学 | 公共・地理 | 英コII |
| 2限 | 物理・生物 | 論表II | 化学 |
| 3限 | | 国語 | 地域防災訓練 |

先生方からのメッセージ 「一教員の伝えたいこと」

～家庭科 百瀬先生より～

私が幼少期に人生を左右するくらい、大きなショックを受けた話からはじめる。愛する祖父母がアルプスを見渡す眺めの素敵なお墓に新しくお墓をたて、家族皆でドライブついでにそのお墓を見に行くことがあった。祖父の何気ないある一言が、生涯私の心に突き刺さる。「愛ちゃんは女の子だから、このお墓には入れないんだよ、、、。」小さかった私には意味が分からなく、、、その意味を知りたいと深く考えたのは思春期をむかえる頃になってからだった。私より4つ下の弟(名前は、愛と平和の「平和」)は祖父母、父母家族一緒のお墓に入ることができるのに!!たった一人家族の中で疎外感を感じ、心細い思いをしたことは今でも鮮明に記憶している。その後の成長過程で、さまざまなジェンダーバイアスを経験し「女性だから～しなければならない」「女性だから～したらおかしい」など、社会での疑問と個人的な体験が多く結びつくようになった。高校時代は「男性に生まれたかった」と強く思っていたが、その後、学問としての女性の歴史やジェンダー平等の在り方などに強く関心を持つようになっていった。“家庭科教員”の私のイメージとは随分かけ離れた実体験を述べたが、皆にも日々の生活の中でもっと疑問をもち、モヤモヤすることに正面から向き合ってほしいと感じる。それが、今後学ぶ学問、進路、職業選択にも影響するだろうと考えるのだ。人生は意思決定の連続だ!!さまざまな分野、立場の人にも関心の目をむけて、感性を磨いて欲しい。